

くまとり

No.48
令和2年2月
発行

発行部数 17,000 部
1部当たり 17円で作成しています
発行/熊取町議会 編集/広報委員会
熊取町野田一丁目1番1号
☎ 072-452-9023

議会だより



新成人
おめでとう!

もくじ
12月
定例会

12月定例会、議会改革検討特別委員会	2ページ
主な議案の説明	3ページ
泉州南消防組合への要望、意見書	4ページ
常任委員会合同行政視察、 議会報告会での主な質疑	5ページ
一般質問	6~11ページ
議会報告会の予定	12ページ

永楽ゆめの森公園駐車場料金の変更 泉州南消防組合規約の変更に伴う決議

すべての議案が可決

12月定例会



矢野正憲議長

12月4日から19日までの日程で12月定例会議が開催され、一般質問・議案説明・委員会付託が行われました。

「永楽ゆめの森公園条例の一部を改正する条例」を含む町長提案の14件の議案と、「泉州南消防組合規約の変更に関する協議について」に対する附帯決議を含む議会提案5件の議案すべてが、全会一致で可決されました。

また、令和元年度熊取町一般会計補正予算（第7号）には、昨年の台風21号により被災した重要文化財中家住宅の災害復旧工事の追加経費や表門耐震化に係る経費、老人憩の家耐震補強工事や北・南中学校のトイレ改修に係る設計業務も計上されています。

教育委員会と総務文教常任委員会との懇談会を行いました

令和2年1月8日（水）教育長はじめ教育委員4名と総務文教常任委員とで懇談を行った。テーマとして「小中一貫教育と特認校について」や「校区を越えたクラブ活動について」など、闊達な意見交換ができ、実りある懇談会となりました。



教育委員会メンバー

教育長 野山 委員 井屋 委員 土屋 委員 六野 委員 榎松 委員 鈴木

議会改革検討特別委員会

【第一回】

11月20日に、大きく4つの改革項目（議員定数・議員報酬見直しの検討、タブレット端末導入、通年議会）を検討することが決まりました。

次回に向けて

- 議員定数、報酬見直しについては議員の考え方を集約。
- タブレット端末導入については研修会等に参加。
- 通年議会については先進議会を視察。

令和元年 12月定例会提出議案 町長提案 14件・議会提出議案 5件
(報告 2件、条例 6件、補正予算 6件、その他 7件)

- | | |
|--|--|
| <p>報告第1号 損害賠償に関する専決処分報告について</p> <p>報告第2号 損害賠償に関する専決処分報告について</p> <p>議案第73号 一般職職員給与条例の一部を改正する条例</p> <p>議案第74号 都市計画法第33条第3項の規定に基づく開発行為に係る制限の緩和に関する条例
→ 説明</p> <p>議案第75号 都市計画法に基づく開発行為に伴う公園等の設置について緩和を受けた場合に徴収する負担金に関する条例 → 説明</p> <p>議案第76号 永楽ゆめの森公園条例の一部を改正する条例 → 説明</p> <p>議案第77号 下水道条例の一部を改正する条例</p> <p>議案第78号 泉州南消防組合理約の変更に関する協議について → 説明</p> <p>議案第79号 工事請負変更契約の締結について(熊取町立西小学校トイレ改修工事)</p> <p>議案第80号 令和元年度熊取町一般会計補正予算(第7号) → 説明</p> <p>議案第81号 令和元年度熊取町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)</p> | <p>議案第82号 令和元年度熊取町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)</p> <p>議案第83号 令和元年度熊取町介護保険特別会計補正予算(第3号)</p> <p>議案第84号 令和元年度熊取町水道事業会計補正予算(第1号)</p> <p>議案第85号 令和元年度熊取町下水道事業会計補正予算(第1号)</p> <p>議案第86号 印鑑登録条例の一部を改正する条例</p> <p>議員提出議案第12号 令和元年台風19号等からの復旧・復興に向けた対策を求める意見書</p> <p>議員提出議案第13号 「あおり運転」に対する厳罰化とさらなる対策の強化を求める意見書</p> <p>議員提出議案第14号 小・中学校の全ての学年で35人以下学級の実施を求める意見書</p> <p>議員提出議案第15号 海洋ごみの処理推進を求める意見書</p> <p>議員提出議案第16号 議案第78号「泉州南消防組合理約の変更に関する協議について」に対する附帯決議</p> |
|--|--|

主な議案の説明

【議案第74号】 都市計画法第33条第3項の規定に基づく開発行為にかかる制限の緩和に関する条例

【議案第75号】 都市計画法に基づく開発行為に伴う公園等の設置について緩和を受けた場合に徴収する負担金に関する条例

開発にかかる制限を緩和することにより適正な公園の配置を図り、開発に置いて都市公園を設置しない場合に負担金を徴収する。

【議案第76号】 永楽ゆめの森公園条例の一部を改正する条例

駐車場利用料金を町内利用者と町外利用者との差を設ける。

永楽ゆめの森公園駐車場利用料金

区分		利用料金 (1日1回 当たり)	障がい者等に 係る利用料金 (1日1回当たり)	
普通自動車	町内利用者	2時間30分以内	無料	
		2時間30分を超える場合	100円	
	町外利用者	月曜日から金曜日まで (祝日は除く。)	300円	2時間30分以内 にあっては無料、 2時間30分 を超える場合に あっては100円
		土曜日、日曜日及び祝日	500円	
大型自動車等		2,000円	2,000円	

【議案第78号】 泉州南消防組合理約の変更に関する協議について

泉州南消防組合理約の経費の支弁方法変更を、地方自治法第286条第1項の規定により、泉佐野市、泉南市、阪南市、田尻町及び岬町と協議するため、同法第290条の規定により提案するもの。

負担金は、消防費に係る基準財政需要額割、消防需要額割及び均等割とし、それぞれの割合は関係市町の長の協議により別に定める事とした。

議会は、組合発足時より全体経費が膨らんでいる事から、附帯決議を可決した。

- ・施設の規模、車両・配置職員数の適正化による財政負担軽減
 - ・新たな負担割合の定期的な検証及び見直し
- それぞれの市町の負担割合についての改善を求め決議する。

【議案第80号】 令和元年度熊取町一般会計補正予算(第7号)

老人憩の家耐震補強に係る経費(久保・翠松苑・小谷・小垣内・東和苑)および西小学校外壁等改修工事、中家住宅復旧に係る追加工事・表門耐震化に係る経費等歳入歳出予算をそれぞれ2億4,137万9千円追加し、総額をそれぞれ149億3,835万6千円とする。

出初め式スナップ

♪～戸締まり用心、火の用心♪



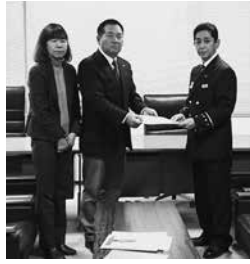
元気に進行、かわいい幼年消防クラブ



一斉放水



レスキュー訓練



大西消防長へ
提出しました。

持続可能な 広域消防へ向けて

泉州南消防組合の今後の運営に関する要望書(要旨)

泉州南消防組合は発足から6年が経過し、消防組合の運営経費に係る負担金については、第4回泉州南消防組合あり方会議において新たな負担割合の最終調整が行われ、基準財政需要額割合が60%、消防需要額割合が27%、均等割合が13%に設定され、今後2年間で負担額の軽減調整が行われる。

本町に係る負担金額は、広域化された平成25年度決算額が4億2452万円であったものが、平成30年度決算額では5億4327万円となり、約1億1900万円激増した。

この度の負担割合の見直し(13.6204%から14.5193%に変更)により、その増額傾向は、加速度的に進むものとなる。

泉州南消防組合の全体経費に関しては、消防組合負担金には公債費分が含まれていることや

退職人数の増加などによる人件費上昇分を差し引いても、増加傾向にあることは否めず、今後継続して経費削減努力がなされること。

また、組合業務に関しては、消防団や自主防災組織に関する事務を町で行うことになったこと、更に再任用職員数の増加状況を踏まえ、職員数の適正化についての検討がなされること。

泉州南消防組合の今後の運営において、火災、救急等の消防需要を踏まえた署所統廃合や施設の規模、車両、配置職員数の適正化により、負担金総額について組合発足時水準を目指すとともに、組合構成市町の負担がより公平となるよう、消防需要割合を含めて今後3～5年間をかけて負担割合の再見直しがなされることを強く要望する。

意見書を採択(関係省庁へ提出しました)

令和元年台風19号等からの 復旧・復興に向けた対策を求める意見書

台風19号等の影響により東北、信越、関東、東海にかけて甚大な被害をもたらした。ソフト・ハード両面にわたる復旧・復興に向けた総合的な支援策を強力に講じることを強く求める。

「あおり運転」に対する厳罰化と さらなる対策の強化を求める意見書

「あおり運転」の根絶に向け、厳罰化については実効性のある法改正の検討、運転免許更新時の講習でのあおり運転禁止と取り締まりの徹底、「あおり運転」を受けた場合の対処方法の周知について早急に取り組むことを求める。

海洋ごみの処理推進を求める意見書

G7シャルルボア・サミットにおいて、自国でのプラスチック規制強化を進める「海洋プラスチック憲章」が取りまとめられた。周囲を海に囲まれた海洋汚染の影響を受けやすい日本こそ対策をリードするべき。「海洋プラスチック憲章」への署名の実行、マイクロビーズの発生抑制及び削減など、必要な対策を強化するよう求める。

小・中学校の全ての学年で35人以下 学級の実施を求める意見書

すべての児童生徒に行き届いた教育を実現するために、「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」の改正等により、全国統一的な制度として少人数学級を推進するよう強く要望する。

愛媛県西条市 (総務文教)

【小中学校ICT教育推進事業】

全国ICT教育首長サミットで最優秀賞を受賞した西条市は、「夢が持てるまち」を基本政策の一つとし、地域課題の解決のために、「ICT技術を活用したスマートシティ構想」に力を入れている。

その一環としての「教育の情報化の取組(全教室への電子黒板の設置、デジタル教科書や児童用タブレットPCの整備、遠隔合同授業、校務支援システムやICT支援員の導入、教育クラウドの整備等)」は、総務省と文部科学省のモデル事業にも採択され、第3期教育振興基本計画に沿った環境整備に努め「ICTを活用した子ども達の学力の向上」や「先生達の校務にかかる時間の短縮」といった面で現れ、子ども達一人一人と向き合う時間も増えている。

また、災害に強い自治防災都市を目指し、地域の環境が似ている中学校区での小学6年生と中学2年生を対象とした防災教育(子ども防災サミット)を毎年実施し、主体的に活動できる様取り組んでいる。



設備の整った議場を見学しました

愛媛県砥部町 (事業厚生)

【子育てモバイルサービス事業】

愛媛県砥部町の『砥部町子育てモバイルサービス事業』は、そのスケジュール管理を自動でできるシステムである。子育てアプリは一般でも普及しているが、自治体がアプリを運営するメリットとして、自治体独自の子育てに関する情報を(自治体が実施する乳幼児検診等)、直接発信できるところにある。砥部町が利用しているシステムは初期費用、約80万円、月額利用料も3.1万円と安く抑えられていた。住民の利用料は無料。課題は登録者が事業開始年度は多かったがそれ以降減っている事で、原因として考えられるのは、元々他のアプリを使用している、登録が面倒などが考えられる。

アプリを導入して必要な人に必要な情報を行政から直接発信できるのは魅力で、現在のように郵送で情報提供するより経費も安価であるので、利用者、行政共に良いシステムだと感じた。



見事な砥部焼のモニュメント(庁舎エントランス)

質問 熊取駅西整備事業については、どのような状況か？泉佐野市との負担割合は？

回答 現在、関係地権者との交渉に着手している。用地買収を進めて、令和2年度末までに整備終了を目指して進めている。泉佐野市と熊取町の負担割合は7対3。

質問 ふるさと納税はどのように使われ、今後の見通しは？

回答 10億円は防災基金として積み立てられ、防災士100人を養成したりしている。また、子育て、教育に使用目的を定めた寄付金もあり、それは小学校のトイレの洋式化をすすめている。災害の時に避難所となる体育館のエアコン設置も検討している。返礼品が地場産品だけとなったので、今年度は大幅に減少している。増やすための努力をしていく。

Q&A

議会 報告会での

主な質疑

令和元年9月定例会分

質問 少人数学級を実現できないほど熊取町の財政は厳しいのか？

回答 来年度から会計年度任用職員の待遇改善で年間1.8億円費用が増加する。それに対する国からの補助金交付はどうか不明である。そのほか幼児教育でも町の負担がふえる状況にある。

質問 空き家の管理条例ができたようだが、その内容は？

回答 空き家対策委員会が作られた。その中で具体的な施策を検討する。町長は持ち主に必要な措置をするよう指導助言できる。国の空き家対策特別措置法に基づいて作られた。

各地区での議会報告会の
内容については、
議会ホームページで公開しています。

熊取町の顔とも言える熊取町役場本館1階に、身障者・多目的トイレが無い。近隣の市町では本館1階に設置しているのが当たり前なのに！

田中 圭介



「令和2年度予算編成」の基本的な考え方について2期目への出馬表明した「藤原町長の政策」について

文野 慎治



役場本館1階トイレについて

問 平成25・26年の役場庁舎本館2カ年工事の際、本館1階に身障者トイレの設置計画等はなかったのか？

答 平成25・26年は庁舎本館・北館の耐震補強工事であり、この工事には、施行箇所が重なる北館1階2階のトイレについて、経済的にも安価で済むことから、段差解消と洋式便器に変更した。本館1階・2階のトイレは、平成28年度に改修工事を行った。その際にも多目的トイレは考えたが、東館にあり構造上・スペース的な面から、北館と同じ段差解消・洋式便器にした。抜本的にその時に見直し、多目的トイレにするよう考えなければいけなかった。



身障者職員がいる職場からの要望について

問 身障者職員の方で、本館1階での勤務の際、トイレに行くのにかなり距離があり不便だったと聞いているが、その際その課の上司・同僚で、同じ職場で困っている職員を毎日見て「やはり本館1階に身障者トイレは必要じゃないか？」等の意見。要望は職員から一切無かったのか？

答 多目的トイレの設置意識はあったが財政的なこと等もあり、設置できていない事から、今とすれば配慮が足りなかった

と反省している。

問 土日祝に来庁された身障者の方への、トイレ対応について。

答 一部の日直者には東館に案内するよう指示しているが、日直者全員に指示していなかった。

問 熊取町は今後、身障者・多目的トイレについてどう考えているか？

答 (町長) 私の責任のもとにおいて、出来るだけ早く対処し、迅速に進めてまいります。



どなたでも自由にお使いください

一般質問の動画はこちら



新年度予算編成の考え方

問 歳入面の見直しは？

答 予算編成作業中に町長選挙が実施されるため、「骨格予算」として編成する。ふるさと応援寄付金の制度変更、町税は1月に見積もりを行うこと、国からの交付税、譲与税並びに府からの交付金も年末年始に国からの地方財政対策等を踏まえ見積もりするため、現時点で精緻に見通すことは困難。

問 歳出面の考え方は？

答 「骨格予算」を踏まえ①消費税引き上げ影響分を含め令和元年度当初予算の範囲内。②投資的経費総額を抑制。③ICT化、外部委託化の推進等、業務改革予算を別枠化。等を毎年度当初予算編成方針としている。

の意見要望を政策提言と受け止め、できる限り当初予算に取り入れるべき。

「マニフェスト」に

「情報公開」の中で、広報紙のA4版化やカラー化と有る。9月議会でのその答弁が出来なかったのか？実行するのか？

答 (町長) 決断が今になった。必ず実行する。

問 「行政改革」では、組織のスリム化や部長級ポストの削減を以前から提言している。踏み込み不足では？

答 (町長) 今後関係先へ働きかける。提起している政策を実行するため、当初予算に取り入れ、即実行する姿勢で臨んで欲しい。住民の生活は日々続いている。遅滞は許されない。スピード感を持ち実行すべき。



要望 9月議会決算審査特別委員会での、各会派

一般質問の動画はこちら



令和2年度国保「市町村標準保険料率」の仮算定結果について

モデルケース 国民健康保険料	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
65歳以上 所得額30万円	19,576	21,280	19,020	19,864	22,766
65歳以上ご夫婦 所得額100万円	121,289	137,555	120,069	122,841	132,867
40歳代夫婦+子 所得額255万円	414,441	458,904	417,456	418,830	453,657

	所得割	均等割	平等割	賦課限度額
医療分R1年度	8.57%	29,713円	31,799円	58万円
2年度	9.07%	32,080円	33,958円	61万円
後期分R1年度	2.69%	9,249円	9,898円	19万円
2年度	2.64%	9,171円	9,713円	19万円
介護分R1年度	2.58%	19,134円	0円	16万円
2年度	2.66%	19,713円	0円	16万円

問 国民健康保険事業は平成30年大阪府に統合された。保険料の推移と来年度の予想は？

答 これまでの推移。（左表参照）来年度は可

大阪府に統合された国民健康保険料はますます高くなる！町営葬儀の変更はしない。合葬墓は検討する！保育料は無償だが副食費は徴収する！

江川 慶子



能な範囲で軽減を図りたい。
要望 インセンティブによる財源も活用して保険料の負担軽減を図られたい。

町営葬儀の改善と合葬墓の整備を

問 小さな葬儀が一般的になってきている。町営葬儀についても実態にあった改善を求めるが？

答 葬儀の価値観の変化を背景に民間の葬儀業者が多様なプランを充実している。町営葬儀はH26年度に、いわゆる小さな葬儀を実施しているのでもこれを選択肢の一つとしてほしい。

問 全国でも公営の合葬墓を整備する自治体が増えている。

いる。永楽墓苑に合葬墓の整備を求めるがいかが？

答 永楽墓苑での合葬墓整備については、潜在的な需要が増加すると考えている。住民ニーズの把握をはじめ調査研究を進めていく。

保育無償化について

問 保育料の無償化が10月から始まったが副食費やその他行事費などの無償化は近隣が進めている。熊取町の動向は？

答 待機児ゼロを継続するために多額の経費が必要となる見込み。副食費の無償化は優先順位が低くなる。現時点においては考えていない。

要望 「子育ての町くまどり」として完全無償化に努めてほしい。

一般質問の動画はこちら▶



学校給食施設の整備について
学校栄養教諭及び教育委員会事務局への管理栄養士等の配属について
ひまわりバス運行の見直しについて

田中 豊一



問 学校給食施設へのエアコンの整備の具体的な計画は？

答 令和2年度早々、暫定的にスポットクーラーを各2台設置し令和3年以降、速やかに整備検討

問 給食調理室への保健所からの改善指導の内容について。

答 3か年の8校の指導内容を一覧表にまとめる。

問 教育長にお聞きします、この一覧を見てどう思いますか？

答（教育長）毎年同じ内容の指摘が有る、計画的に改善しなくてはならない。

問 学校栄養教諭及び教育委員会事務局への管理栄養士等の配属について

答 現状の学校栄養教諭の配置状況及び今後の見直しは？

問 現在の学校栄養教諭の配置状況及び今後の見直しは？

答 現在は、小学校4名、中学校1名の栄養教諭の配置で、児童生徒の減少により来年度は、1名減の見直し。

問 文部科学省が定める「衛生管理マニュアル」の作成と「学校給食における食物アレルギーの手引き」の策定は栄養士資格を有した職員の配置が必要では？

答 給食事業を実施する教育委員会が指導的役割を担うので、一層の役割を持つ体制が必要。

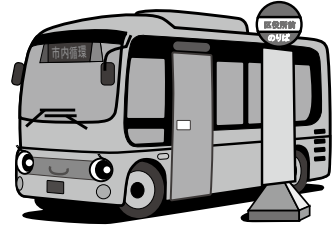
「ひまわりバス運行」の改善について

問 多方面の住民や専門家で組織する「地域公共交通会議」を設置しては？

答（町長）駅ロータリーや、乗り入れていない地域への対応等、更なる検討を進める。

問 現状の学校栄養教諭の配置状況及び今後の見直しは？

一般質問の動画はこちら▶



YouTube養成講座について
これからの情報発信、
シティプロモーションについて

大林 隆昭



YouTube養成講座

問 受講人数、性別、年齢層について。

答 男性22名、女性7名。20歳〜80歳の参加。

問 受講者に対する働きかけはするののか。

答 行政側でYouTube専用チャンネルを開設し、可能な限り動画を提供してもらおう。

これからの情報発信

問 株式会社FunMakeと包括連携協定を結んだことからの情報発信は。

答 株式会社FunMakeが持つ発信力を活用し、第4次総合計画に掲げる「行政と住民が一体となったシティプロモーション活動」を展開し、これまで取り組んできた活動についても、適宜見直しを図っていく。

問 発信する情報は「転入、定住促進」に重点を

おくのか。

答 「子育てしやすい教育のまち、くまとり」のブランドメッセージの発信を基本とし、引き続き「転入、定住促進」に取り組んでいく。

問 「住民主体のプロモーション」の具体的な進め方は。

答 今年度実施したYouTube養成講座を第1段階とし、その結果を踏まえながら、来年度は行政チーム型の共同事業としてYouTube養成講座を充実させ、「住民主体のプロモーション」の発展を進めたい。

子育てアプリの導入について
病児保育について

坂上 昌史



子育てアプリの導入について

問 シティプロモーション用HP作成について。

答 専用HPの作成は財政的に厳しいが、現在の熊取町HPが作成から8年経過している。10年の節目に更新することを考えている。

町長 2年後に町政70周年を迎える。精一杯進めていきたい。

要望 庁舎内のICT化も含めて考えて欲しい。

問 大使の有効活用について。

答 現在7名の親善大使に活動していただいている。それぞれの活動において町の紹介、発信。また、事業への参加、協力を得ている。可能な限り動画、写真の提供を受け活用していきたい。

一般質問の動画はこちら▶

期に導入できるよう進めていただきたい。



問 病児、病後児保育サービスについて

答 本町としては多様な保育サービスの充実の必要性を認識しつつ、病児病後児保育の実施に向けては小児科医との連携及び協力体制の確立や施設・設備、必要となる看護師、保育士の確保など、実施可能な事業形態や手法を検討していく。

病児保育について

問 近隣と比較しての「子育てしやすい町」を掲げる熊取町の今後の取り組みは？

答 共働き家庭の増加などにより保育ニーズが高まり、保育所における入所児童数は年々増加傾向にある。待機児童対策は勿論のこと、多様化する保育ニーズに対応すべく、サービスの充実に務めてきた。安心して子育てができる環境づくりに努めていきたい。

一般質問の動画はこちら▶



災害時の情報伝達、災害時医療体制を確実なものに。「ふるさと応援基金」の思い切った有効活用を。

坂上巳生男



第2期子ども・子育て計画で病児・病後児保育は怎么样了か？子ども・子育て会議での子ども基本条例の進捗は？35人以下学級の実現について一年単位変形労働時間制の教員への影響は？

鯉谷 陽子



災害時の情報伝達体制

問 自主防災への情報伝達手段は？

答 代表者の携帯電話への連絡、一斉メール配信（29代表者）の体制をとっている。全ての代表者に配信できるように働きかける。

問 視覚、聴覚障害者への情報伝達の工夫は。

答 共助の取り組みとして、避難行動要支援者の把握と支援体制づくりを、自主防災のモデルマニュアルに明記している。

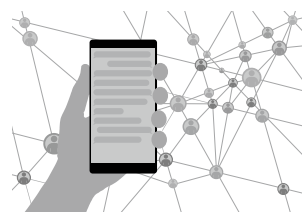
防災行政無線が確実に伝わるよう、ジェイコムと連携し家庭で受信できるサービスを今年度内に導入する予定だ。

問 その端末を利用すれば音声と同時に文字情報もテレビに映るのか？

答 基本的な防災情報は文字情報として出る。

問 防災情報が確実に伝わるよう、メール配信している自治体もある。本町での導入の予定は？

答 泉佐野市・田尻町など実施自治体の状況を調べ、導入を検討する。



問 災害時の医療体制が重要だ。災害医療センターとの連携、災害医療訓練の実施はどうか。

答 本町では三和会永山病院を災害医療センターと位置づけ、熊取町防災会議にも参加頂いている。

また、泉佐野泉南医師会と「災害時における医療

救助に関する協定」、三和会とは「福祉避難所に関する協定」を結び連携を図っている。

永山病院では各種研修に毎年参加。災害対策訓練は本年度実施予定と聞いている。本町と連携した訓練は5年ごとの総合防災訓練の中で実施。次回は令和3年度実施予定。

要望 災害時医療訓練はもっと頻繁に実施を。

基金の有効活用について

問 ふるさと応援基金の活用については、少人数学級拡大など思い切った施策も必要ではないか。

答 補正予算で、老人憩いの家耐震補強の財源として6475万円を計上した。政策・財政面で最大の効果につながるよう活用したい。

一般質問の動画はこちら▶



病児・病後児保育

問 次期子ども・子育て計画の病児・病後児対応は？

答 病児・病後児保育については、現在、町立保育所4か所及び民間保育所3か所など体調不良の児童を保護者が迎えに来るまで預かる「体調不良児対応」だ。アンケートで、37%の方が病児・病後児施設を利用したいと回答。第2期計画で位置づけた。

要望 貝塚市のリトルスター病児保育室は、貝塚市民と規定していない。

委託契約で貝塚市民は、3千円が2千円です。熊取町も委託し、2千円で利用できるように。

子ども基本条例の進捗は

問 子ども・子育て会議のなかで、子ども基本条例は体裁だけでなく実効

性のあるものと述べられていた。どのように進めているのか？

答 子どもに対するアンケート、ヒアリング、さらには、検討会議に子どもや教員などの参加が重要と意見をもらった。今年度中の条例制定を予定していたが、子どもの人権が尊重され、大人が運用し、実効性を伴ったものにするため論議を進めていく。

35人以下学級の実現は？

問 大阪府で改善メニューとして加配教員を35人以下学級に活用できるようになった。進めることは出来ないか？

答 10月に説明があった詳細は明らかでない。現在、小中学校8校で加配教諭は14名。

加配の活用は、実情に応じて府に申請。35人以

下学級も選択。

一年単位変形労働時間制

問 公立学校の教職員の働き方に「一年単位の変形労働時間制」が導入された。教員への影響は？

答 改正案は、働き方改革の一環として、繁忙期の勤務時間の上限を引き上げ、夏季休業中などに休日をもとめて取るようにするものである。

要望 先生は働き過ぎです。人数を増やし授業時間を減らすべき。



一般質問の動画はこちら▶



いかなる相談も断らない支援体制を！
高齢者の交通安全支援と移動手段の確保を！
子育てモバイル事業で子育て支援の充実を！
一見 裕子



いかなる相談も断らないことを目標とした総合的な支援体制について

問 熊取町の対応は。

答 地域福祉全般の一元的な相談窓口として、CSWを配置。複数の問題を抱えている方を関連する担当課、専門機関などにつなげる役割と伴走型の相談体制を基本に丁寧な対応を行っている。

問 生活困窮自立支援事業の現状と課題は。

答 本町には社会福祉事務所がないので大阪府から委託の相談支援員による「はーとほっと相談室」を週2回運営。相談内容が複雑化となり、長時間・長期に渡る事や時間外の緊急相談となるケースもある。人的体制の充実の検討が必要。

高齢者の安全運転支援と移動手段の確保について

問 後付け「ペダル踏み間違い時加速抑制装置」の高齢者の購入支援は。

答 大阪府が市町村と協議して補助する制度の創設に取組んでおり、動向を踏まえ、前向きに検討。



問 移送サービスは。

答 本町社会福祉協議会への補助事業として、車いす用軽自動車を使用し、運転ボランティアを活用した移送サービスを令和2年度中に試験的な開始を目指し、検討。

問 デマンド型乗り合いタクシーの導入は。
答 現時点では考えていない。

子育てモバイル事業について

問 複雑化する予防接種の接種率、完遂率は。

答 接種率はBCG96.3%、麻しん・風しん1期92.5%、2期94.6%、四種混合97%、B型肝炎93%、ヒブ92%、小児肺炎球菌92%、水痘95%、8歳に到達の予防接種の完遂率は80%。



問 子育てモバイルサービスを導入しては。

答 初期費用、ランニングコストの経費が補助金や交付金の対象となるかの調査。導入自治体の状況を調査研究し、検討。

一般質問の動画はこちら▶▶



「脳の健康教室」を導入し認知症予防を！
一人暮らしの高齢者を守る「鍵預かり事業」の導入を！
不登校児童生徒の居場所づくりを！
「子ども基本条例」の制定と「子ども記念日」の創設を！
渡辺 豊子



認知症施策について

問 2025年には、高齢者の5人に1人が認知症になると推計されている。予防として「脳の健康教室」を導入し、認知症サポーター等によるチームオレンジの活動の場として取組んではいかがでしょうか？

答 今後、考えていく必要もあるかと思う。

緊急時安否確認事業にCSW

問 独居の高齢者の生命を守るために、豊能町では、65歳以上の一人暮らしの高齢者を対象に、自宅の鍵を預かり、緊急時に鍵を使って安否を確認する「緊急時安否確認事業」を無料でやっている。本町も取り組んでいいか？

答 本町は、「緊急通報装置貸与事業」で、鍵預かりサービスを月額550円実費負担して頂き、実施している。

要望 事業所のオプションではなく、地域の見守り活動として、ネットワーキング会議で協力してもらえるかどうか聞き、検討してほしい。

不登校対策について

問 不登校の現状と不登校児童生徒への対応については？

答 平成30年度の不登校は、小学校3名、中学校28名。SSWや教員による家庭訪問、スクールカウンセラーや臨床心理士によるカウンセリング、家庭支援、別室指導や学力補習など実施している。

問 学習支援や学校復帰を目的として適応指導教室（教育支援センター）の設置については？
答 学校以外での居場所となるような施設、運営方法について研究している。

一般質問の動画はこちら▶▶



きたい。

子ども基本条例について

問 平成28年12月議会、29年12月、31年3月でも質問している。取り組み状況は？

答 子ども子育て会議での意見を踏まえ、来年度中の制定を目指し、じっくり議論していく。

問 条例施行日を「熊取町子ども記念日」として子どもの権利について考える日にしてはどうか？
答 幅広い議論を進める。

歴史と文化について 働き方改革について 防災について

河合 弘樹



歴史と文化について

問 だんじりの新調や、大修理時に地区に対して、祝い金や助成金等熊取町として出しているのか？

答 本町としては、実施していないが、泉佐野市では助成金が、だされて

31年2月に国庫補助事業

に採択された。令和2年4月の一般公開を目指し復旧工事が行われている。

働き方改革について

問 超過勤務は減っているのか？

答 今年度と昨年度の上

要望 ふるさと納税の一部を使っても、地区の宝物である、だんじり文化発展のためにも、助成金等、出して頂きたい。

問 中家住宅の復旧工

答 台風21号の影響で、表門が倒壊して、

主屋の屋根瓦や土塀の剥落などの大きな被害を受け、復旧工事を速やかに着手しており、平成



防災について

問 防災マニュアルは出

来ているのか？

答 「熊取町避難行動・避難所運営マニュアル」を令和2年1月完成を指している。

問 災害時の障がい者や高齢者の方々への対応は？

答 災害時バンダナを活用し、災害ボランティアセンターと連携して、支援していく。

問 ペットの避難場所はどう考えているのか？

答 避難所での滞在期間が、短い場合は受け入れをお断りしている。駐車場の車内で保護するなど

の対応をお願いしている。又、長期の場合は受入れのように、対応する。

**一般質問の
動画はこちら▶**



幼児教育・保育の実情について

問 熊取町内の町立保育

所、民間保育園、民間認定こども園における在園児童数は？

答 町立保育所、民間保育園児童数は次表に示す。

問 町立保育所、民間保

育園、認定こども園の在園児童数は次表に示す。

要望 保育所の民営化は町の経費を大幅に軽減するものであり、今後速やかに実現を再検討すべきである。

問 令和2年度からの町立保育所職員の処遇改善による町の負担増はいくらか？

答 制度適用により年間約4千4百万円負担増となる。

要望 町立保育所職員の

処遇は改善されるが、民間保育所の処遇改善は不明である。町単費での処遇改善も検討すべきである。

小学校の少人数数学級の実施改善を検討すべき

問 小学校の少人数数学級の

実施について

重光 俊則



処遇は改善されるが、民間保育所の処遇改善は不明である。町単費での処遇改善も検討すべきである。

問 大阪府内で市町村独自で35人以下学級を実施している自治体数は？

答 熊取町で実施した場合の費用負担増はいくらか？

答 大阪市と堺市を除き10市が実施している。熊取町で全学年に35人以下学級を適用すると、教師6人で年間2千7百万円増加し、1年生だけ30人学級を適用すると教師2人で約9百万円増加となる。

要望 早急に1年生の30人以下学級を実現すべし。

**一般質問の
動画はこちら▶**



町立保育所、民間保育園、認定こども園の児童数 (平成31年3月1日時点)					
区分	名称	0~2歳児	3~5歳児	小計	合計
町立	中央保育所	68	111	179	637
	東保育所	67	97	164	
	西保育所	60	101	161	
	北保育所	49	84	133	
	アトム共同保育園	72	89	161	
民間	つばさ共同保育園	56	64	120	530
	すみれ保育園	55	41	96	
	さくらこども園	64	89	153	
	*フレンド幼稚園	30	321	351	

(*フレンド幼稚園は平成31年4月1日から認定こども園として開園)

議会報告会

予定の

～議会とミーティング～

班構成 (○は班長)

1 班

○坂上 巳生男、田中 圭介
浦川 佳浩、渡辺 豊子
河合 弘樹

2 班

○重光 俊則、大林 隆昭
坂上 昌史、二見 裕子
江川 慶子

3 班

○鱧谷 陽子、田中 豊一
文野 慎治、矢野 正憲

定例会閉会後に各地区で実施します。各地区での報告会は「議会とミーティング」という形で、地区の要望をお聞かせいただき、今後の政策の反映にいかします。全体会の実施につきましては、年2回(11月・5月)の開催を予定しています。又、各種団体との意見交換会の実施も予定しています。

「手話通訳」をご希望の方は、早めに議会事務局へご連絡ください。

班	2月実施予定(12月議会報告)		
1	野田	2月15日(土) 午後7時30分～	老人憩の家
	大原	2月29日(土) 午後6時30分～	大原集会所
2	泉陽ヶ丘	2月16日(日) 午前10時30分～	老人憩の家
	七山	2月29日(土) 午後7時～	七山公民館
3	和田	2月2日(日) 午後6時～	和田公民館
	成合	2月16日(日) 午後7時～	老人憩の家



班	5月実施予定(3月議会報告)	8月実施予定(6月議会報告)
1	東和苑	翠松苑、水荘園
2	つつじヶ丘	朝代、公社熊取
3	緑ヶ丘	久保、南山の手台



519人が晴れの成人に

3月定例会予定

みんなの議会、
傍聴しませんか？

会議はいつでも
午前10時からです。

(3月11日(水)の
議会運営委員会のみ
午後1時30分からです。)

議事の進み具合により、会議が終了している場合もあります。
日程は変更する場合があります。直前にお問い合わせください。

本会議の日程 3月4日(水)・5日(木)・6日(金)・27日(金)
[予備日] 3月9日(月)

委員会の日程 議会運営委員会 2月27日(木)・3月11日(水)
(直接傍聴及び別室傍聴) 事業厚生常任委員会 3月11日(水)

総務文教常任委員会 3月12日(木)
予算審査特別委員会 3月16日(月)、17日(火)、23日(月)
[予備日] 3月24日(火)

広報委員会
委員長 二見 裕子
副委員長 文野 慎治
委員 大野 隆昭
委員 坂上 昌史
委員 田中 豊一
委員 河合 弘樹
委員 坂上 巳生男

令和2年が幕を開けました。今年は大きな災害の無い、明るい1年になることを願うばかりです。熊取町でも1月12日に「成人式」が行われ、519人の新成人が誕生しました。広報委員会として、この議会だよりを通じて、広く町民の皆様へ議会を知っていただけるように取り組んでいます。まずは、「見える議会」につきは、「魅せる議会」へ議会に興味を持っていただき、議員を志す人が一人でも増えてくれる事を望みます。

(O・T)

編集後記